

事業シート (概要説明書)

予算事業名		富山県献血推進事業				事業開始年度		昭和39年度	
財源 内訳	国補助金		千円		千円		千円		千円
	国補助金の内容								
	地方債		千円		千円		千円		千円
	その他の財源 (使用料、手数料など)		千円		千円		千円		千円
	その他の財源の内容								
	一般財源	11,683	千円	10,241	千円	11,083	千円	9,979	千円
財源合計	11,683	千円	10,241	千円	11,083	千円	9,979	千円	
事業 実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度			
	献血ポスター 配布枚数 (7月、1～2月全国キャンペーン月間)		枚	2,050/－	2,550/－	2,800/－			
	街頭啓発活動用ポケットティッシュ 配布数		個	9,000/－	9,000/－	9,000/－			
	FMラジオスポットCM 放送回数		回	10/－	20/－	20/－			
	富山グラウジーズホームゲームでの啓発画像表示 (平均入場者数：約4,500人/回)		回	1/－	－	－			
	複数回献血記念品 贈呈数		個	2,108/－	1,864/－	632/－			
	多数回献血表彰者数 (100回献血) (副賞：ギフトカード3,500円分、賞状フォルダ)		人	54/－	53/－	67/－			
	多数回献血表彰者数 (50回献血) (副賞：賞状フォルダ)		人	152/－	140/－	150/－			
	単位当たりコスト		/						
事業 成果	成果目標 (指標設定理由等)	主としては毎年度、国から示される都道府県別の確保すべき血液目標量を達成すること。 将来的な課題に対して、長期的な献血量を確保し続けるため、特に若年層の献血の意識を向上させること。							
	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度			
	県内の血液確保量		L	16,700/15,977	15,752/16,604	16,377/16,687			
	県内の献血者数		人	38,020/35,950	36,231/37,490	37,400/37,500			
≪参考≫ 献血率 (県内/全国)		%	6.3/6.2	5.9/6.2	6.0/6.3				
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>各市町村、日本赤十字社富山県支部や富山県赤十字血液センター等と密接な連携のもとに全国キャンペーンの実施等に合わせて献血運動を推進し、複数回献血の推進を図る取組みや若年層を対象とした普及啓発活動等を実施している。</p> <p>現状では、県内で必要な血液量は確保されているものの、若年層(10～30歳代)の献血率は、40代・50代に比べて低く、また長期的に低下傾向にあることが課題となっている。今後、少子高齢化の進展により献血可能人口自体が年々減少している中において、献血率の低下は、将来的に必要な血液の確保ができなくなるおそれが懸念される。</p> <p>将来の献血を担う若年層の献血率向上に向け、引き続き、より効果的な普及啓発手法の検討が必要である。一方、国及び日本赤十字社が全国的・大規模な普及啓発を行っており、県として実施すべき効果的な取組みについては継続的な検討が必要と考えられる。</p>							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	富山県献血推進事業	事業開始年度	昭和39年度
<p>比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)</p>	<p><富山県赤十字血液センター> 若年層への普及啓発活動 ・14歳の挑戦受入(中学2年生) ・親子見学会(小学5年生と保護者) ・高校献血セミナー、富山大学医学部生が血液センターへ見学実習 ・七夕・サマー献血キャンペーン、全国学生クリスマス献血キャンペーン 学生ボランティアと連携協力 ・献血ポスターコンペティション(東海北陸ブロック血液センター主催) 献血啓発ポスターを募集し、一般県民による投票で選ばれた作品を表彰 ・高校献血、大学献血 ・大学、専門学校の入学オリエンテーション等での普及啓発 ・大型ショッピングセンター等での献血啓発活動イベントの開催</p> <p>複数回献血の推進 ・複数回献血クラブ「ラブラッド」会員募集リーフレットの作成・配布</p> <p><全国的な取り組み> 若年層への普及啓発活動 ・幼児向け絵本の作成(社会福祉法人) ・小学生向け献血教育冊子の作成(日本赤十字社) ・小中学生向けパンフレットの作成(日本赤十字社) ・中学生向け献血啓発ポスターの作成(厚生労働省) ・高校生向け献血教育冊子の作成(厚生労働省) ・小学生の親子見学会(日本赤十字社) ・高校献血セミナー(日本赤十字社) ・大学生向け献血啓発ポスターの作成(厚生労働省) ・献血アイドルキャラクターを使用した献血啓発映像の作成(厚生労働省) ・小中学生向けキッズ献血(模擬献血)(日本赤十字社)</p> <p>複数回献血の推進 ・複数回献血クラブ「ラブラッド」の運営(日本赤十字社)</p> <p><石川県> 行政機関単独での取り組み ①愛の血液助け合い運動 ・献血推進に功績のあった個人・団体に対する知事感謝状等の贈呈 ・石川県庁からの情報発信(報道及び庁内大型電光掲示板での広報) ②高等学校における献血指導者研修会 ・県内高等学校教諭に対する献血啓発研修の開催 ③中学生を対象とした献血ポスターコンクールの実施 ・優秀作品をバス車内広告、啓発しおり・パンフレットに活用</p> <p>行政機関と血液センターとの協働 ①愛の血液助け合い運動 ・献血啓発用ポスターを県、市町村等への掲示 ②年末年始愛の血液助け合い運動 ・献血啓発のため県、血液センターホームページに広報掲載。 ・石川県庁前バスロータリーに懸垂幕の掲示 ③はたちの献血キャンペーン ・献血啓発用ポスターの県、市町村等への掲示 ・石川県庁前バスロータリーに懸垂幕の掲示 ④献血広報等の協力(一部市町による) ・市町の広報誌への献血日程掲載 ・広報車若しくは町内放送設備による献血の周知(当日など) ・市メールの登録者への献血の周知(前日など) ⑤石川県献血推進協議会の開催 ・協議会を開催し、次年度献血推進計画等について、意見交換</p>		
<p>特記事項</p>			

実施の背景・目的①

●献血の種類

- ・ 全血献血 (400mL、200mL)
- ・ 成分献血 (血漿、血小板)

健康な方々の「献血」により、自発的かつ無償で提供された血液を原料として、血液製剤が作られる

昭和39年閣議決定「献血の推進について」

- ✓ 売血制度ではなく、献血による血液確保を目指す
- ✓ 国・地方公共団体・日赤は、献血思想の普及などを推進

➡ 富山県でも献血推進の事業を開始

平成15年血液法 (安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律)

- ① 基本理念
 - ・ 安全性の向上
 - ・ 献血による国内自給の原則、安定供給の確保
 - ・ 適正使用の推進 等
- ② 関係者の責務

国

- ① 安全性の向上
- ② 安定供給確保の基本的・総合的な施策
- ③ 献血に関する国民の教育・啓発

地方公共団体

- ① 献血への住民の理解を深めるための措置
- ② 採血事業者による円滑な献血受入れのための措置

採血事業者

- ① 献血の受入れ推進
- ② 安全性の向上・安定供給確保に協力
- ③ 献血者の保護

●輸血用血液製剤



- 有効期間 採血後28日間
- 有効期間 採血後1年間
- 有効期間 採血後4日間 (要振とう)
- 有効期間 採血後21日間

●血漿分画製剤

アルブミン製剤 免疫グロブリン製剤 血液凝固第Ⅷ因子製剤 その他



(厚生労働省「令和5年度血液事業報告」より引用)

実施の背景・目的②

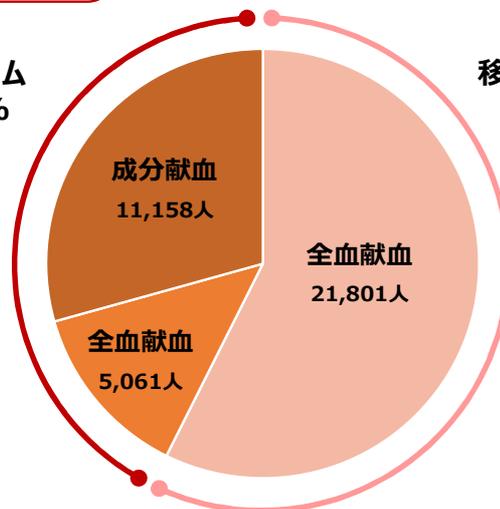
●県内の献血状況 (令和5年度)

- ・ 献血量 16,700 L
- ・ 献血者数 38,020 人 (延べ)
- ・ 献血率 6.3%



献血ルーム
42.7%

移動献血車 (献血バス)
57.3%



●献血バスの稼働状況 (令和6年6月の場合)

- ・ 街頭献血 24か所
 - ・ ショッピングセンター 11か所
 - ・ 公共施設など 13か所
- ・ 企業献血 43か所
- ・ 学校献血 1カ所 (大学)



マリエ献血ルーム

※富山駅前「マリエとやま」6階

令和4年12月に全面的な拡張改修工事が完了。

活動実績①

【活動指標名】	単位	2023年度	2022年度	2021年度
献血ポスター 配布枚数	枚	2,050/-	2,550/-	2,800/-

7月、1～2月 全国キャンペーン月間：厚生労働省ポスター



【活動指標名】	単位	2023年度	2022年度	2021年度
街頭啓発活動用ポケットティッシュ 配布数	個	9,000/-	9,000/-	9,000/-

富山駅・マリエ富山前での街頭啓発活動（2月）



【活動指標名】	単位	2023年度	2022年度	2021年度
富山グラウジーズホームゲームでの啓発画像表示	回	1/-	-	-

(平均入場者数：約4,500人/回)



富山グラウジーズホームゲーム表示画像

【活動指標名】	単位	2023年度	2022年度	2021年度
FMラジオスポットCM 放送回数	回	10/-	20/-	20/-

活動実績②

【活動指標名】	単位	2023年度	2022年度	2021年度
複数回献血記念品贈呈数	個	2,108/-	1,864/-	632/-

(トートバック・R6デザイン)



400mL複数回献血キャンペーン記念品

(けんけつちゃん×ハローキティ)

- 令和3年度：血液型ピンズ
- 令和4年度：血液型ピンズ
- 令和5年度：トートバッグ
- 令和6年度：トートバッグ

(R5引換券)



(ピンズ・R4デザイン)



【活動指標名】	単位	2023年度	2022年度	2021年度
多数回献血表彰者数（100回献血） （副賞：ギフトカード3,500円分、賞状フォルダ）	人	54/-	53/-	67/-
多数回献血表彰者数（50回献血） （副賞：賞状フォルダ）	人	152/-	140/-	150/-

(賞状フォルダ・100回献血)

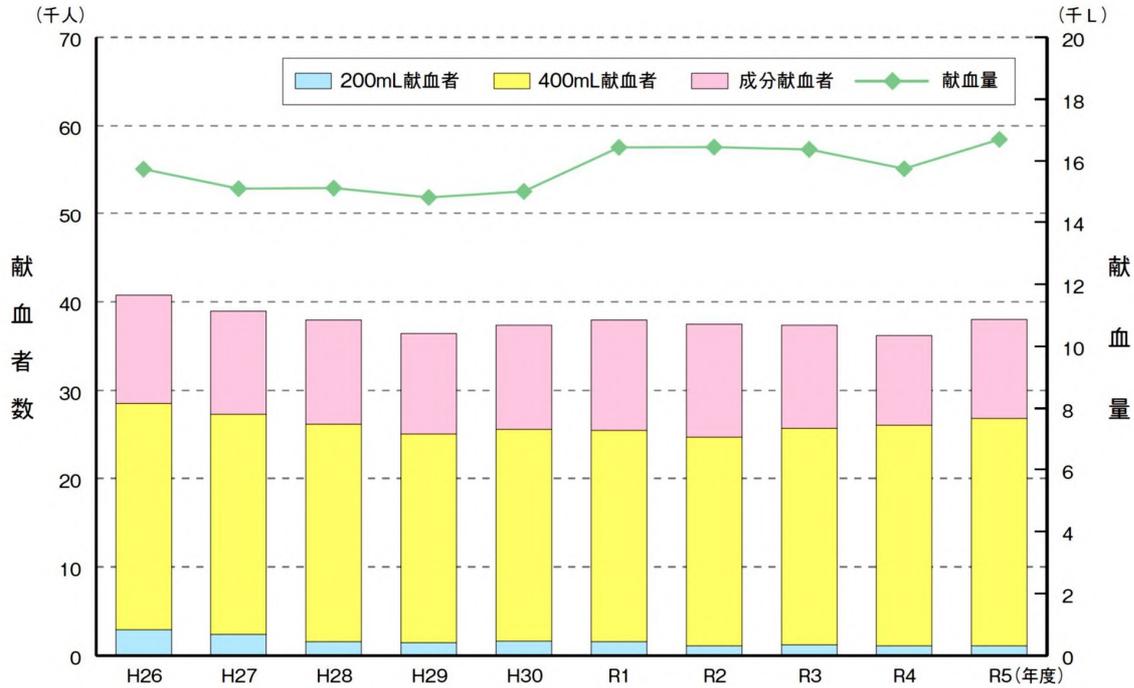


(ギフトカード・100回献血)



●県内における献血の推移

令和5年度 献血量 16,700 L
献血者数 38,020 人（延べ）



※ 200mL献血は医療現場でのニーズが低く、献血量の割合は非常に小さい。16歳男女・17歳女性は200mL献血のみ。

事業成果②

●国割り当てによる血液確保量等の実績

(血液確保量)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
確保目標 (L)	15,751	15,411	15,283	15,200	15,345	16,033	16,592	16,687	16,604	15,977
実績 (L)	15,740	15,109	15,128	14,825	15,020	16,443	16,451	16,377	15,752	16,700
達成率	99.9%	98.0%	99.0%	97.5%	97.9%	102.6%	99.2%	98.1%	94.9%	104.5%

(献血者数)

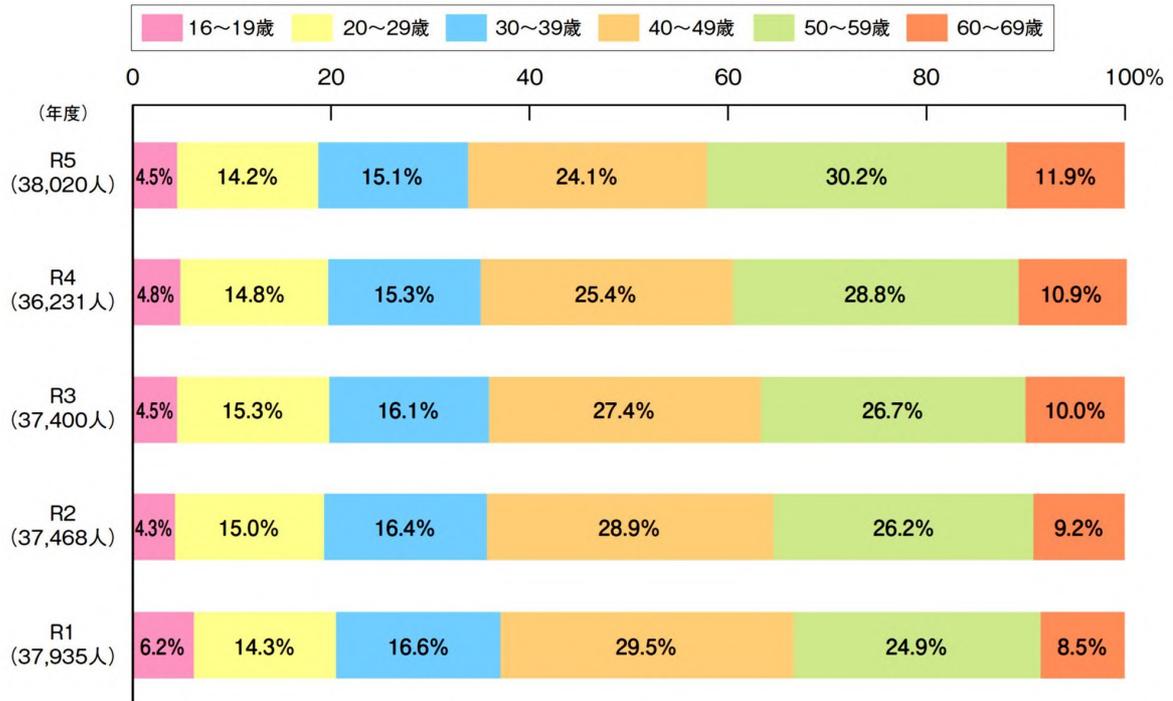
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
確保目標 (人)	41,000	39,700	38,440	37,550	36,760	36,800	37,700	37,500	37,490	35,950
実績 (人)	40,791	38,961	37,965	36,457	37,352	37,935	37,468	37,400	36,231	38,020
達成率	99.5%	98.1%	98.8%	97.1%	101.6%	103.1%	99.4%	99.7%	96.6%	105.8%

●献血率の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
県内の献血率	5.9%	5.7%	5.5%	5.4%	5.7%	5.9%	5.9%	6.0%	5.9%	6.3%
全国の献血率	5.8%	5.7%	5.7%	5.7%	5.8%	6.0%	6.1%	6.3%	6.2%	6.2%

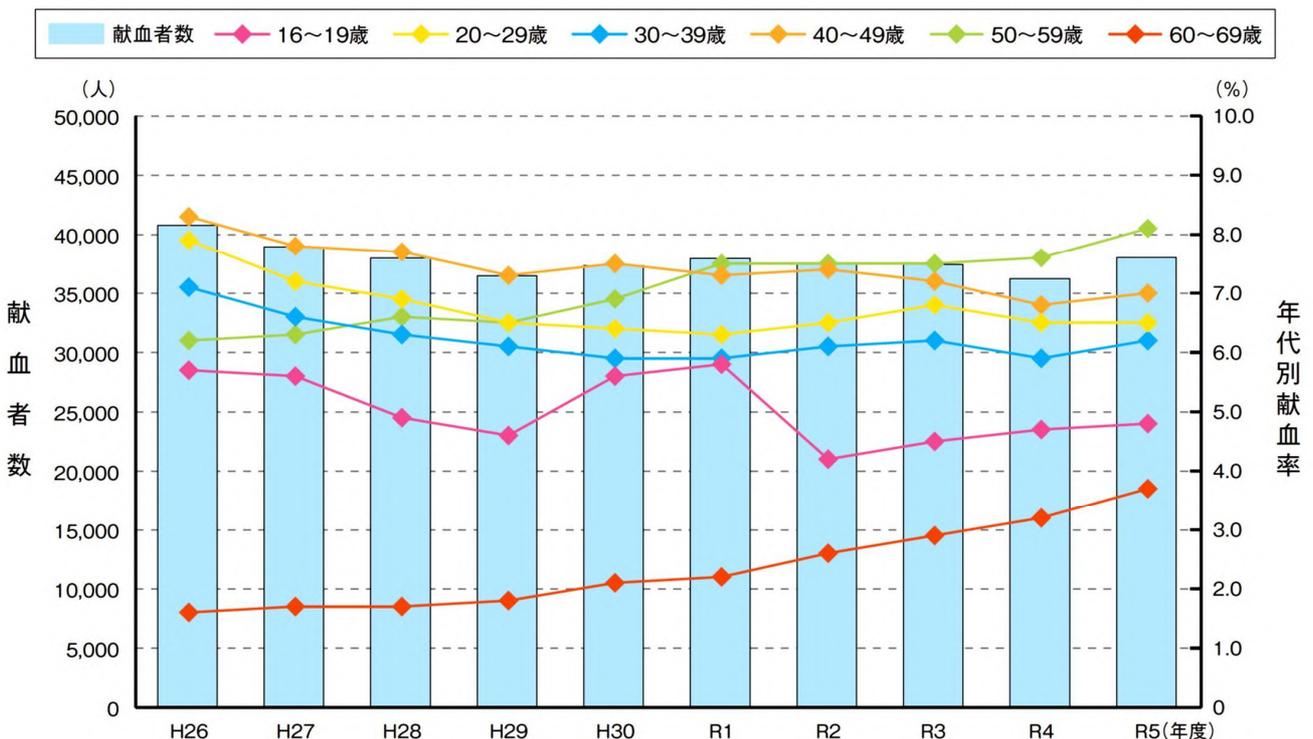
※ 献血率 = (献血者数 (県外在住者を含む)) / (献血可能年齢人口 (16~69歳))
各年10月1日での算出、千人単位で四捨五入

●年代別献血者数の状況（総献血者数に対数年代別構成比）



7

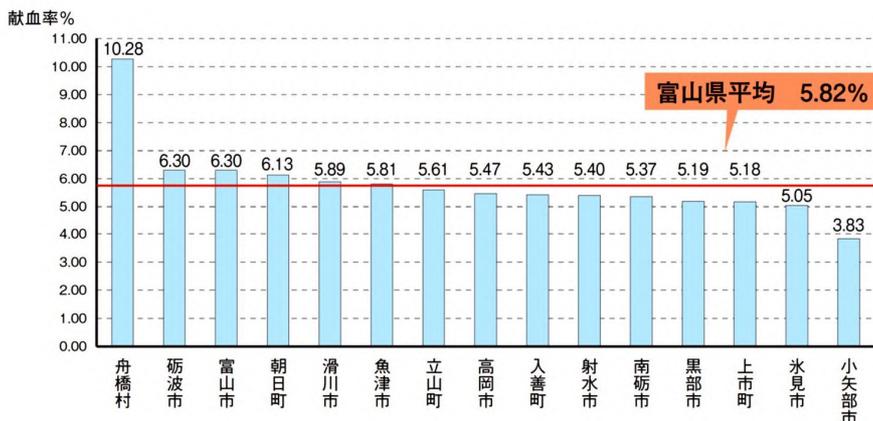
●年代別献血率の推移（献血可能人口に対する年代別献血率）



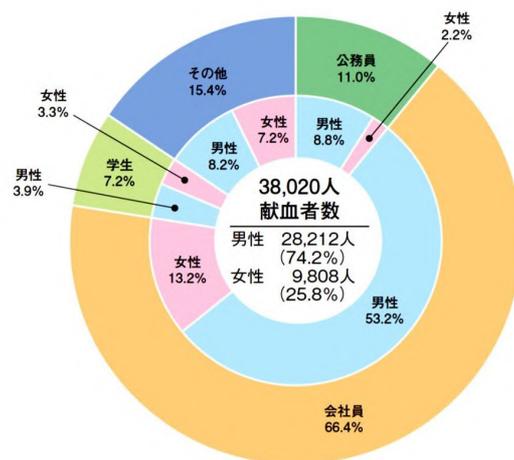
8

(参考資料①)

●市町村別献血者数の推移

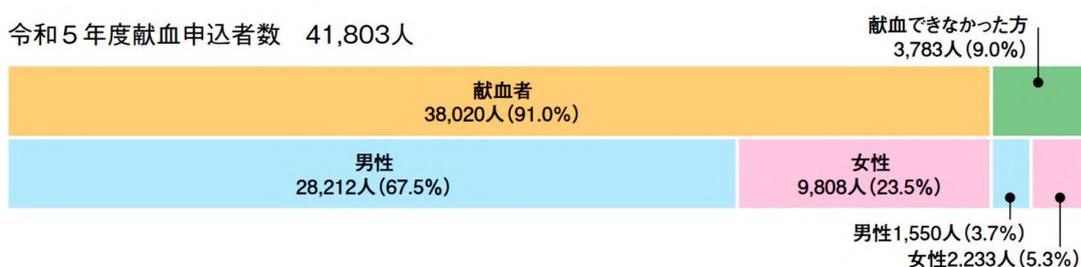


●職業別献血者数の状況



●献血申込者の状況

令和5年度献血申込者数 41,803人



(参考資料②)

●献血できなかった方の状況

男性 1,550人 (41.0%)



女性 2,233人 (60.9%)



●輸血用血液製剤の供給推移

